



スマートフォンで  
広報たじみを  
持ち歩く！

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課  
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 制作時間 8:30~17:15  
TEL 0572-22-1111 FAX 0572-24-3679 htp://www.city.tajimi.g.jp/  
E-mail hsyokoh@city.tajimi.g.jp



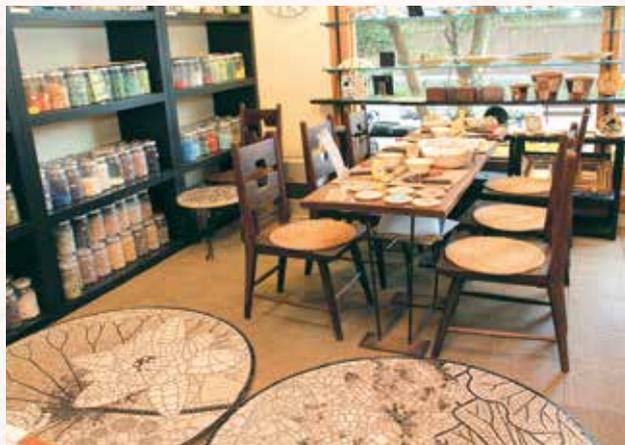
多治見市緊急メールに登録してください  
携帯電話に緊急情報を送ります  
https://service.sugumail.com/tajimi



▲「銀座うかい亭」の店内。カウンター越しの厨房奥に深海と洞窟をイメージしたモザイク装飾を制作。



▲制作の様子。「銀座うかい亭」のモザイク装飾では、青を基調としたガラス、タイル、大理石を使用。



▲小路町の「mosaic美鈴」店内。モザイクタイルなどの材料販売やモザイク教室を開く(金・土・日曜日営業)。

SPECIAL TALK



# 輝く技術

ピースの集合体である

モザイク装飾こそ

圧倒的なエネルギー



曾根 研さん

モザイク装飾家  
(有限会社ミスズアートスタジオ)

私のモザイク装飾家としての活動は、施主から依頼される建築装飾がほとんどです。自由な発想と手法で自己表現をするアートとは違い、建築装飾は多種多様な制約の中で施主が求めるものを提案していきます。自ら主張する作品ではなく、空間の一部として溶け込んでしまうような作品を施主と一緒に作っていくのが私の理想でありライフワークです。

有限会社ミスズアートスタジオの3代目として母から会社を引き継いだ当初は、モザイクタイルをシートに貼って出荷するような単純作業がほとんどでした。転機となったのは、高級鉄板料理店「銀座うかい亭」の内装を手掛けたことです。ガラスとタイルと大理石を使い、深海と洞窟とそこを悠々と泳ぐ魚を表現しました。現場で施主に直接話を聞きながら、複雑なモザイク装飾を作り上げていく楽しさを知りました。

ピースを集合させるモザイク装飾は、圧倒的なエネルギー(気)を蓄積し、見る人に感動を与えます。私は、デザインと素材を決め、全体の段取りや作業スタッフへの指示出しをするとともに、ポイントとなる箇所を自ら施工しています。今後の目標は、数十年かけて作り上げるような大作を手掛けることです。

## 人口と世帯数の動き

平成30年11月1日現在

総人口

111,084人 (前月比 -53人)

男 54,019人 (前月比 -17人)

女 57,065人 (前月比 -36人)

世帯数

46,513世帯 (前月比 +63世帯)

## 文化財み～つけた

しほ かり  
芝切地蔵尊  
喜多町3 法喜寺内



「豆州箱根山中」と彫られ、明治40年に建立されたと記されている芝切地蔵尊が、法喜寺の境内にあります。なぜ多治見にあるのか詳細は不明ですが、芝切地蔵尊が誕生した静岡県三島では、病氣平癒にご利益があるお地蔵様として信仰されています。